

流域1万人だより 111~120

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

111. 文化センター(日田市大山町中央・都築地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.05)
112. 農村環境改善センター(久留米市三潴地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.06)
113. 老松コミュニティセンター(日田市大山町老松・西峰地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.08)
114. 竹ノ首公民館(日田市天瀬町)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.08)
115. 浮島公民館(久留米市城島町浮島地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.09)
116. 城島農村環境改善センター(久留米市城島町城島地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.10)
117. 野瀬部地区集会所(日田市大山町烏宿地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.11)
118. 佐野常民記念館(川副町中川副地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.12)
119. 川副中央公民館(南川副地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.12)
120. 鎌手コミュニティセンター(日田市大山町清流地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.07.13)

流域 1 万人だより VOL. 111

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月5日(火)に文化センター(日田市大山町中央・都築地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、13名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 日田市大山町

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者	
国	9名
県	2名
市	0名
住民	13名

主な意見

【治水について】

☆S28年時は、大山地区も浸水した(役場周辺)。清和橋も流れた。
☆川を扱わずダムに任せればいい。河川については現状のままで良いのではないかな。

【河川利用について】

☆川に砂がなくなっている。いい遊び場だった。
☆昔のように子供たちが遊べる川を作るのが理想。

【環境について】

☆上流の住宅地、畜産排水等の下水道対策も重要ではないか。
☆川に砂がなくなった。ヘドロばかりになっている。
☆ダムが出来た後、治水は安心できるが、環境は悪くなった。
☆水が汚く魚がいない。魚釣りシーズンに人が来るが、すぐ帰ってしまう。
☆田に入る水が汚くて臭い。
☆人が住めば、水質は必ず悪くなる。それをどう改善させていくか考えていく必要がある。
☆河道内の樹木を残して欲しい。

【管理について】

☆ダムができたことで水害は減ったが、水量の影響でヨシが繁茂して川に近寄れない。対策が必要である。

【利水について】

☆下笠ダム、松原ダムへの流入水をバイパスしてほしい。
☆下笠ダムの上にバイパスを作って、平常時は水を貯めず、流せないか。

【その他】

☆河川愛護は地域が協力していかないとけない。
☆四万十川では川海苔を作っている。うらやましい。

懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 112

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月6日(水)に農村環境改善センター(久留米市三潞地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、10名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 久留米市三潞

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者

国	8名
県	1名
市	3名
住民	10名

主な意見

【河川利用について】

- ☆昔は、遊び＝生活、魚釣り＝晩のおかずで、遊びと食べ物の調達ができ、遊びと食が一体だった。今はありえない。
- ☆昔は、危険はありつつも、きれいな川に近付きたいと感じていたが、今は行きたいと思っても川に入れない。一般の人が入りやすい河川敷の利用方法はないものか。
- ☆川原を散策できるようなゾーンにするのは地元・ボランティアの力では無理。国でやってもらわねば。
- ☆堤防道路に歩道を作ってもらいたい。

【河川環境について】

- ☆小さい頃は、シジミ・ホタルが多くいたが最近はいなくなった。
- ☆川や井戸水の水質が悪化した。
- ☆昔よりヘドロが多くなった。
- ☆筑後川の水の流れが弱くなった。

【管理について】

- ☆ボランティアで清掃するしかない(どうしたら良いか教えてほしい)。制約が多く片付けようにも難しい。
- ☆堤防の空き地に車を入れないようにしているが、自由に出来るようにしたほうが良いのではないか。
- ☆六五郎橋のところのような、アシ焼きの活動を広げてほしい。
- ☆ヨシ刈りはボランティアだけでは手に負えない。国交省が何とかすべき。

【利水について】

- ☆昔はアオを採っていた。うまかった。

【その他】

- ☆昔はガタを採ってきて肥料にし、お金にしていた。
- ☆昔はすぐ川に水を汲みに行けた。
- ☆「川は地域・地元できれいに」と言われても、我々ではどうにもできない汚さだ。国で考えや動きを見せてほしい。

懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 113

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月8日(金)に老松コミュニティセンター(日田市大山町老松・西峰地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、11名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 日田市大山町

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者	
国	12名
県	2名
市	1名
住民	11名

主な意見

【河川利用について】

- ☆以前のような親しみやすい川でなくなった。
- ☆川に近付きやすい、親しみやすい河川整備をしていただきたい。
- ☆護岸を整備する際、階段も備えられているが、段差が大きいのでなかなか降りられない。
- ☆整備が進んだのはいいが、護岸が頑丈なだけで川に下りられなくなってしまった。
- ☆今後整備する際は、子供たちが遊べるような整備をしてほしい。

【河川環境について】

- ☆以前より水質が悪くなり、川魚が食べられない。現在は水の量も非常に少なく、水深が浅くなった。
- ☆ダム(松原・下笠)によって安全度は増したが、非常に水質が悪くなった。
- ☆支川赤石川はきれいだが本川は汚い。特に雨上がりは大山川で異臭がする。改善策はどのように考えているのか。
- ☆シラサギ・アオサギが増えた。サギに魚やカニなどを取られ少なくなった。
- ☆水量が減ったことで水位が低下し鳥がアユを獲りやすくなった。アユの体長が小さい。
- ☆大山川に昔はメダカがたくさんいた。しかし最近は全然見ない。
- ☆河川にブラックバス・オヤニラミがたくさん生息している。
- ☆28災までは巨石があって、その下流に砂浜(洲)があった。28災後、大きな石を取り除いてしまったために島もなくなってしまった。昔の川と変わってしまった。

【河川管理について】

- ☆昔は牛等の餌のため、川の草を採っていて、川には草がなかった。昔は切った後はそのままにし燃やしていない。
- ☆自転車道・歩道となっている箇所のガードパイプが壊れている。
- ☆国と県の管理区間が分かれているため、総合的な管理ができていない。
- ☆以前に比べ、ヨシが生い茂って川に近付けない。
- ☆山が荒れているから川に水が流れてこない。川だけでなく山の対策もできるならやってほしい。

【利水について】

- ☆水量が減り、滞りなくなった。

【その他】

- ☆堤防の外(堤外地)に民地がまだたくさん残っている。
- ☆地域の人の意見を聞くと、この川をよく知っているからもっといいことができる。護岸工事など地域の話聞いてほしい。
- ☆川づくりは流域全体を見てやるべき。
- ☆河川がなぜこんなに変化したのか原因をはっきりさせなければ、十分な整備ができないのではないか。

懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 114

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月8日(金)に竹ノ首公民館(日田市天瀬町)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、10名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 日田市天瀬町

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者	
国	12名
県	2名
市	1名
住民	10名

主な意見

【治水について】

- ☆ダムが出来てから、洪水が減ったが、ダム直下の人間はいろいろな不便を強いられているのでわかってほしい。
- ☆護岸工事等、左岸、右岸一緒に整備してほしい。
- ☆松原ダムが出来た当初は、通勤通学時間等を考慮しダムの放流時間を変更してくれていた。

【河川利用について】

- ☆竹ノ首地区にある沈み橋は、ダム放流時に河川に沈む。改築し、沈まない安全な橋にしてほしい。
- ☆昔、川は唯一遊び場であった、川魚をよくとっていた。ダムが出来て魚が減った。
- ☆川が汚くて、底にはヘドロまで貯まっている。これでは、泳げない。
- ☆沈み橋に、転落防護柵等を設置してほしい。
- ☆ダムの放流は通勤・通学時間は控えてほしい。沈み橋が放流の影響で沈み通過が不可能になる。
- ☆沈み橋から川に落ちる危険性もあるため、道路に街灯等を設置してほしい。
- ☆天瀬町以外は、公園や護岸を整備されている。当地区にも整備してほしい。

【河川環境について】

- ☆昔の川は綺麗だったが、ダムが出来てから汚くなり、ヨシによって川に近付くことさえ出来なくなった。
- ☆ダムから流れてくる水は、醤油色で汚い。
- ☆松原ダム曝気装置を建設し水質が改善されるらしいが、きれいな水が流れていないようだが？

【河川管理について】

- ☆ヨシがあるために、川に行けない。切ってほしい。
- ☆河川内にヨシが繁茂し、火事になった際に燃え広がりそうで怖い。除草してほしい。
- ☆当地区はノーポイ運動等のボランティア活動をしている。

【その他】

- ☆懇談会を開いて住民の意見を聞く前に、早く整備してほしい。実施まで時間がかかりすぎる。
- ☆筑後川の河川敷に『鯉のぼり』を建てようとしたが、河川管理者から止めろと言われた。
- ☆ダム見学はできるのか？

懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 115

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月9日(土)に浮島公民館(久留米市城島町浮島地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、11名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 久留米市城島町

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者	
国	7名
県	1名
市	2名
住民	11名

主な意見

【治水について】

- ☆浮島地区は28災で何もなかったのですが、ここが決壊するというようなことは考えていない。
- ☆浮島は、大雨や高潮のとき決壊しやすいのではないかと。危険性があるならば早急に対策をとるべきだ。
- ☆12km右岸、昔より川底が変わっている。荒籠があったが壊れている。
- ☆排水場のポンプは余り役に立っていないようだ。
- ☆今の堤防に危険性があると言うなら、道路も広くして補強しなければいけないのではないかと。

【河川利用について】

- ☆浮島地区では、堤防の上部が県道となっているので、土木事務所とよく相談してよりも早く拡張をお願いしたい。
- ☆河川敷と川幅を幾らかでも狭くして道路を拡張すればいい。川幅を狭くするようなことはできないものか。
- ☆千代田町の佐賀県側の排水の出口に架橋すればいいと思う。
- ☆堤防には危なくていけない。
- ☆青木島左岸、通学路なので広くしてほしい。子供達が通学するのに危ない。

【河川環境について】

- ☆昔は川の水を汲んで使っていたが、川の水が濁ってしまった。
- ☆昔は泥を揚げて、堆肥をつくらっていた。クリークの土を乾かして作物を植えているが、枯れてしまう。家庭用の排水によって汚れ、クリークの土では作物が育たない。
- ☆魚の種類が変わってきた。浮島地区はドジョウがたくさん生息していたが、今は1匹もない。
- ☆昔は砂利があってシジミ貝がとれたが、今はガタがいっぱいでとれなくなった。
- ☆昭和40年代に浮島の土砂山のところからも、砂をとっていた。昭和45年以降は機械で砂をとり始めてなくなった。
- ☆エツが少なくなったのではないかと。今年は雨が降らなかったため、水が濁って上ってこなかった。
- ☆筑後川をきれいにするためには、下水道と合併浄化槽の完全普及をすれば河川がきれいになると思う。
- ☆農業用水の堀などにはフナも少ないし、メダカも余りいない。

【管理について】

- ☆荒籠なども全部ガタで埋まってしまった。ガタが多いので困っている。
- ☆ゴルフ場をつくっても手入れが大変だ。

流域 1 万人だより VOL. 116

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月10日(日)に城島農村環境改善センター(久留米市城島町城島地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、9名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 久留米市城島町

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者	
国	6名
県	0名
市町村	3名
水機構	1名
住民	9名

主な意見

【治水について】

☆ダムをもう一つつくるという意味ではないが、保水力を高めてもらいたい。水の流れの速さが、夜明ダムからここまで7時間半だったのが、今は3時間半ぐらいである。
☆ダムは洪水調整に役立っている。

【利用について】

☆10年で1mぐらい泥がたまっている。桟橋に船が着かなくなった。
☆水天宮へは船で行けた。

【環境について】

☆大潮の満潮時は、上からきれいな水を余計に流してもらわないと、下流はますます汚い水ばかりになる。
☆エツ船にエツを食べに来た人に、「水がこんなに汚いなら食べられない」と言われた。
☆水が余りに汚いが、どうやって飲み水にしているのか。ある程度の水量を保つことを考えてもらって、川の汚れの原因をまた地域で話して、認識を高めていかないといけない。

【管理について】

☆江湖に入ったゴミを水門のところで金網でせきとめて、たまったら自動で揚げて、横で焼いたり、どうにかしないと、田植えのときなどはみんな江湖に落としてしまう。田んぼに水を引くところに鉄格子みたいなものをして、ゴミを除去する方法を考えてもらわないといけない。
☆農業者のゴミを江湖から処分することを指導してもらいたい。
☆川にゴミをどんどん捨てていくので、防犯カメラを3台つけてもらった。それから不法投棄がなくなった。

【利水について】

☆水がなく川が生きていない。大堰で水が止まった時点で水量が少なくなった。臭いがした。
☆干満があるので流れていると錯覚する。上からほとんど流れてきていない。潮先になるときは水が全然動いていない。
☆へドロがたまりやすい流量である。大潮のときにへドロがきて沈殿する。
☆福岡に水をやらなければならないので、上流で流量を調整してある。エツ漁の一部の方の話では、「我々もエツをとって暮らしているのになぜ福岡に水をやるのか」という声が聞かれた。

【その他】

☆治水、利水、親水に、あと一つ「活水」という言葉を入れてもらいたい。
☆地球上の水は1つだから、水循環まで踏み込まないといけない。

懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 117

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月11日(月)に野瀬部地区集会所(日田市大山町烏宿地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、23名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	日田市大山町
1. 代表者懇談会	
② 住民懇談会	
出席者	
国	6名
県	0名
市町村	4名
水機構	2名
住民	23名

主な意見

【治水について】

☆28年の水害のとき、山が崩れて地すべりが起こるさまを見た。
川沿いの人たちは、家が流れないように、綱引き用のロープを持ってきて家を引っ張ったという話を聞いている。
学校の下はロープかけをした。

【利用について】

☆昔はプールがなかったので、川で泳いでいた。
☆川に関心を持たせるためには、水辺の郷にプールみたいなものがあればいいのではないか。
☆大山中学校の下の護岸整備が全くなされていない。川に親しもうと思っても、寄りつけない状況である。学校の付近だからこそ、いち早く護岸整備を進めてほしい。
☆学校に行っている子供が興味を持たなければ、川は余り利用しない。子供たちを重点に置いたような川づくりを。
☆水泳だけではなく、魚獲りとか、1年間ずっと川が遊び場だった。今は水の量が少なく水質も悪いので遊べない。
☆ごみがいっぱいで、川に入る気がしない。
☆散歩道をつなぐことで河川利用者が増える。
☆階段の数が少ない。
☆川に親しむと盛んに言われているが、自分の子供を連れて川に遊びに行こうというのは考えられない。水質が改善されれば、解決できる方向性が見つかるのではないか。
☆昔は、ダムがなかったから、美しい水が直接流れてきていた。今は、危険度はなくなったが、水は汚い。水をきれいにしないと寄りつかない。
☆ヨシがあって、川に近づけない。

【環境について】

☆昔はカマツカがいっぱいいたが、今はイダ、フナ、コイなど、泥水にいる魚が大部分を占めている。
☆上流の上津江、中津江になると全く違う。前津江の川もそうだが、昔のままの水である。川底がきれいに見える。
☆ダムが古くなればなるほど水が腐れてくるのではないか。最近は特に川の水が汚い。水を美しくする方法はあるのか。
☆においがきつい。水が腐れているから、ウナギもいない。
☆河原の石の状態が違う。へドロがべったりついている。
☆泥がたくさんたまつたせいか、最近は水が余計に腐れている。今は水が少ない時期なので、特別ではないか。
雨が降らなくなってからこうなっている。

【管理について】

☆草刈りを頼むのならば、もう少しその場所に行きやすいようにしてほしい。
☆日田から下流では地域で汗水流して草を刈ったり、ごみを拾ったりしている。今後も自分たちでやらなくてはならないのか。

【利水について】

☆昔と比べて水の量が少ない。川幅は半分もなく、3分の1ぐらい。水の高さは1m。
☆飲料水に使うと言うが、よほど処理をしているのだろう。

【その他】

☆川に関心がない。
☆水が汚いというのは、大山にとってはイメージダウンにつながっている。早急に解決していただきたい。
☆ダムがなかったら大変だ。
☆下流の方には、上流の方は水がこんなふうであると言っておいてほしい。

流域 1 万人だより VOL. 118

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月12日(火)に佐野常民記念館(川副町中川副地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、16名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 川副町

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者

国	6名
県	2名
市町村	2名
水機構	3名
住民	16名

主な意見

【治水について】

☆治水対策は進んできている。
☆台風時、左岸側は堤防すれすれまで水が来る。
☆早津江大橋付近の堤防を大きくしてほしい。

【利用について】

☆5月5日は水天宮まで船で行っていたが、もう行けない。
☆カニとかエビとりに一日中没頭していたこともあるが、今は川で遊ばない。
☆昔は大詫間まで泳いで渡っていた。ダムの影響で川の流れが変わってきた。
☆今の子供は川で泳ぐと親から怒られる。プールに慣れているから川で溺れる。昔はいかだ舟から飛び込んで遊んだ。
☆川副大橋の右岸側は、流れが緩やかで、ガタが堆積して浅くなっている。毎年掘らないと下れない。

【環境について】

☆川が昔と違って殺風景だ。昔はハゼノキがあった。堤防のそばにサクラなどを植樹し、流域に潤いを。
☆環境問題もあるので、ダムをつくらなくていいのではないかな。自然を大切にする視点を一番優先してほしい。
☆小さい頃、早津江川の水は飲料水にしていた。両岸にアシ原があり、上流までずっと覆われていて、ヨシキリの鳴く声がうるさいぐらいだったが、今は少なくなった。アシ原が水の浄化には一番いい。
☆川の流れが緩くなった。少なく引いて、多く満ちている。台風時は危ないくらい満ちてくる。
☆有明海の魚は昔に比べて大分少なくなった。早津江には砂州が多く、クチゾコとかシジミ貝がたくさんいた。
☆上げ潮のタイミングでシロウオがとれていた。砂州では貝、ガタではワラスボもとれ、ナマズやエツもいた。

【管理について】

☆ヨシがあれば廃棄物がどんどん捨てられる。ヨシが必要な場合は、不法投棄の監視をしてほしい。

【利水について】

☆大堰から寺内ダムに水をポンプアップしているのか。
☆昔は新川からアオをとっていたが、その水が今来ないのは、江川、寺内、筑後大堰ができたからではないか。

【その他】

☆この川とともに生きてと言っても過言ではない。
☆昔は川に対する愛情や連帯責任があり川に関連する祭りを色々やっていた。流域の伝統文化を残したい。
☆小さい頃は、早津江には3軒の材木屋があって、上からいかだが流れてきた。
☆この川で何が釣れるかとよく聞かれる。生きた魚が見られるように、「はなむね」に水槽を置いてほしい。
☆八田江と新川に排水をもたせる計画だが、利水では水門が機能していない。排水と利水の調整をしてほしい。

懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 119

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月12日(火)に川副中央公民館(南川副地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、6名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名		川副町
1. 代表者懇談会		
② 住民懇談会		
出席者		
国	6名	
県	2名	
市町村	2名	
水機構	2名	
住民	6名	

主な意見

【治水について】

- ☆S28年水害時は軒先まで水が来た。
- ☆右岸2～3kmの堤防が裏・表小段がなく薄いため、洪水・台風時に怖い。昨年の18号台風では、天端から1mのところまで水が来た。
- ☆大詫間はえぐれてどんどん深くなっている。
- ☆昔に比べ、水制が少なくなった。水制や荒籠を用いて水の流れをジグザグにしたらどうか。

【利用について】

- ☆筑後大堰ができてから、水の流れが少なくなり、満潮から2時間以内でないといと船を出せなくなり不便になった。
- ☆戸ヶ里の道路が高潮対策で3～4年前に整備されたが、幅員が狭くガードレールもない。

【環境について】

- ☆塩水の濃度の変化のせいか、ハゼ・エツの釣れる場所が昔より上流になった。
- ☆堤防をコンクリートで固めている。昔はアシがあって白エビがいた。
- ☆ノリのシーズン外には60cmヘドロが溜まるようになった。
- ☆S28年水害以降、国交省のおかげであまり水害を受けなくなった。今後は治水より環境整備に力を入れてほしい。
- ☆国交省任せというより、一人一人が環境に取り組むことが大事だ。

【管理について】

- ☆2km付近の早津江川右岸のガタを掻き回して除去してもらったが、そのかわり2～3kmの辺りにガタが溜まった。
- ☆朝、ウォーキングしていると、早津江川の堤防がゴミ捨場になっている。
- ☆ゴミ問題は国交省がするというより一人一人がやるべき。
- ☆6月1日堤防除草が行われ、地域の美化作業時には取れなかった空き缶等がたくさん出てきた。美化作業の前に堤防除草をしてくれるとゴミが取りやすいのだが、調整できないものか。
- ☆小郡の「精霊流し」の回収方法を考えてほしい。

【利水について】

- ☆水道のない頃、潮が引いてから満ち返るとき、飲み水を採っていた。

【その他】

- ☆住民の関心が低い。
- ☆地元と国交省の懇談会は大変良いことだしうれしく思う。住民懇談会をこれからももっとやってほしい。
- ☆河川整備においては、災害対策と環境整備が第一と考える。

懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 120

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年7月13日(水)に鎌手コミュニティセンター(日田市大山町清流地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、18名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 日田市大山町

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者	
国	6名
県	3名
市町村	3名
水機構	2名
住民	18名

主な意見

【治水について】

- ☆我々の地区だけが護岸改修を何もやっていない。
- ☆上野川は整備計画に入っているのか。堤防のところは底が掘れて危ない。
- ☆先の大雨ではダムがあったことで助かった。
- ☆袖木橋～竹ノ首の間、用地買収は昔終わっているのに、まだ堤防工事していない。早くしてほしい。
- ☆大水のときでも松原ダムに水がたまっていない。水をそのまま流さず、ためて、少しずつ流すように調節してほしい。

【利用について】

- ☆ヨシが多くて川に入れない。
- ☆用地買収は終わっているのに、いまだに工事していない。護岸上に大きな消防車が通れる道路ができればいい。

【環境について】

- ☆特に今年は水が濁って、泡が流れている。
- ☆魚がいなのは水が汚いからだ。
- ☆水質が汚い原因は、S50年前後から小国町が山を開墾してダイコンを植え出したからである。黒土が水で流出して、杖立の下ところに蓄積している。黒土は粒子が細かいので一緒に流れてくる。
- ☆砂もほとんど流れてこない。
- ☆川の中は、小さい石や砂がない。小さい堰をつくって水がとまれば、水が確保できるし、砂がたまるのではないかな。
- ☆国は水量は見るけど、水質は見ないのかな。

【管理について】

- ☆堰をつくって水をためたらヨシが生えないのではないかな。水面を確保してほしい。

【利水について】

- ☆水量が少ない。

【その他】

- ☆今回の整備計画では、一般の人の話を聞いてやっていこうということで、大変うれしく思う。
- ☆住民の声を聞くだけでなく、実行してもらいたい。
- ☆20年、30年先の話も良いが、今の状況を少しでも良くしてほしい。